土に学ぶ里マキノ公民館だより

2014年7月号
編集・発行　マキノ公民館
（マキノ土に学ぶ里研修センター内）
TEL　27－1131（代）

【公民館教室が始まりました。】

今年は、ものづくりを中心とした教室を6教室、子ども向けの教室を2教室、高齢者向けを１教室の、9教室になりました。定員を超える教室もありましたが、応募者全員の方に参加していただくことにいたしました。

それぞれの教室では皆さんの、生き生きとした楽しそうな表情がとても印象的です。また新しい人間関係つくりの輪が広がっています。

中高年のための ステップアップ講座

初回は歌声喫茶を開催しました。みなさん昭和の懐かしい歌を存分に歌われ、当時に思いを派せました

デジカメ教室

取扱説明書を見ても分からない方も、教室が終わるころは「名カメラマン」になれそう。お出かけ撮影会も楽しみです。

陶芸教室

陶芸のすべての工程に挑戦です。乾くまで時間がかかるのでその間にいっぱい作品が作れそうです。

木工教室

初心者が多いので、基本的な道具の使い方からはじめています。自分だけの作品が楽しみです。

気楽で楽しい 料理教室

この日のメニューは魚を使っての効果(経済)の良い家庭料理を、気楽に教えていただきました。

親子里山探検隊

マキノは自然がいっぱい。今回は親子で蛍の観察です。平家ボタルと源氏ボタルの違いは分かりましたか。

大人の 書道教室

実用書から芸術まで。「筆を立て、筆先を殺さず、手首を滑らすように、力まずに楽しく書いて下さい。」と講師の方の教え。

もみじ学級

子どものころや若いころを思い出すことは、頭が若返ります。先生の軽快なおしゃべりも講評で、皆さん楽しく過ごしました。

今年も公民館ロビーに

見事なさつきを

展示してくださいました。

６月１日～８日

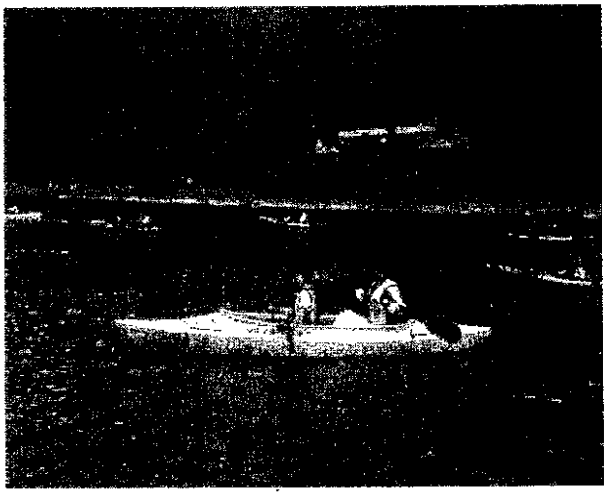
マキノ青少年育成学区民会議から

６月２２日には「マキノっ子体験塾」として、マキノ東小学校前～琵琶湖海津沖でカヌー教室を開催しました。（右写真）

７月は青少年の非行・被害防止の強調月間です。青少年を守り育てるため皆さんのご協力をお願いします。

また、よい環境づくりにも務めています。中学生も協力して落書き消しを行います。落書きをみつけたら公民館へお知らせください。

年々子どもが減少し少子化が進行しています。こんな中、地域の子どもは地域で育てる取り組みが重要になっています。まずは挨拶、声かけから、ぜひご協力をお願いします。（会長　出口 健）



皆さま、お元気ですか。

さてマキノ公民館は毎日多くの皆さんにご利用いただいています。

子どもたちのスポーツ少年団が熱心な指導者のもとで、がんばっています。どの子もみんなきちんと顔を見て目をあわせて挨拶をしてくれます。とても気持ちがよく、それだけで応援したくなります。

大人の方も非常に熱心に活動されています。Ｅｎｊｏｙマキノのスポーツ団体が、きめ細かく取り組んでおられ、高島市内ではいちばんの草の根的な活動のように思います。お世話してくださる方、参加される方、皆さんの呼吸がぴったりのようです。

文化的なサークルもたくさんあり、それぞれが楽しみながら趣味の作品つくりや教養の向上に取り組んでおられます。

現代のような変化の激しい社会の中で、これらはまさに生涯学習の理想的な姿のように思います。こうした活動で、趣味、教養、技術が深まり、健康増進につながり、友達ができ、生きていく張りにつながります。まさにいいことづくめです。

公民館はこのような皆さんの活動を応援しています。どうぞ気楽に公民館においでください。

（公民館長　大森）